

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公開番号】特開2000-206146(P2000-206146A)
 【公開日】平成12年7月28日(2000.7.28)
 【出願番号】特願平11-11208
 【国際特許分類】

G 0 1 R 1/067 (2006.01)

H 0 1 L 21/66 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 1/067 G

H 0 1 L 21/66 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月7日(2005.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】半導体素子の検査方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 半導体ウエハ上に形成された一つのパッドに、プローブ針の第1の導電体および第2の導電体を接触させた状態で行う半導体素子の検査方法であって、前記第1の導電体は針状であり、前記第1の導電体は筒状の絶縁体で被覆されており、前記絶縁体は、筒状の前記第2の導電体で被覆されていることを特徴とする半導体素子の検査方法。

【請求項2】 前記第1の導電体の先端は、前記第2の導電体の先端と、前記パッドを介して電氣的に接続されていることを特徴とする請求項1に記載の半導体素子の検査方法。

【請求項3】 テストのドライバが出力したデータを、前記第1の導電体もしくは前記第2の導電体のどちらか一方から、前記パッドを介して前記半導体素子に入力し、前記半導体素子から、前記パッドを介して出力されたデータを、前記第1の導電体もしくは前記第2の導電体の他の一方から、テストのコンパレータに伝送することを特徴とする請求項1から2のいずれかに記載の半導体素子の検査方法。

【請求項4】 前記第1の導電体もしくは前記第2の導電体のどちらか一方を、フォース用プローブ針として用い、前記第1の導電体もしくは前記第2の導電体の他の一方をセンス用プローブ針として用いることを特徴とする請求項1から2のいずれかに記載の半導体素子の検査方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

【 課題を解決するための手段 】

この発明に係る半導体素子の検査方法は、半導体ウエハ上に形成された一つのパッドに、プローブ針の第1の導電体および第2の導電体を接触させた状態で行う半導体素子の検査方法であって、前記第1の導電体は針状であり、前記第1の導電体は筒状の絶縁体で被覆されており、前記絶縁体は、筒状の前記第2の導電体で被覆されているものである。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 7 】

この発明に係る半導体素子の検査方法は、第1の導電体の先端は、第2の導電体の先端と、前記パッドを介して電気的に接続されているものである。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 8 】

この発明に係る半導体素子の検査方法は、テストのドライバが出力したデータを、第1の導電体もしくは第2の導電体のどちらか一方から、パッドを介して半導体素子に入力し、前記半導体素子から、前記パッドを介して出力されたデータを、前記第1の導電体もしくは前記第2の導電体の他の一方から、テストのコンパレータに伝送するものである。

【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 9 】

この発明に係る半導体素子の検査方法は、第1の導電体もしくは第2の導電体のどちらか一方を、フォース用プローブ針として用い、前記第1の導電体もしくは前記第2の導電体の他の一方をセンス用プローブ針として用いるものである。

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 2 0

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 8 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 2 1

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 9 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 2 2

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

【 手続補正 10 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】